

令和元年度 第8回高松圏域自立支援協議会運営会議 議事録

日時：令和元年11月8日（金）10：00-12：00

場所：かがわ総合リハビリテーション福祉センターAV会議室

参加者：高松養護学校養護学校、香川中部養護学校

高松市保健センター、直島町住民福祉課

就労支援部会）かがわ総合リハビリテーションセンター

就労支援部会）障害者就業・生活支援センターオリーブ

精神保健福祉部会）障害者地域生活支援センターほっと

相談支援部会）障害者生活支援センターたかまつ

身体障害者支援部会）障害者生活支援センターあい

発達障害部会）発達障害者支援センター「アルプスかがわ」

こども部会）地域生活支援センターこだま

当事者団体・家族会連絡会）相談支援事業所ライブサポートセンター

居宅サービス事業所連絡会）地域活動支援センタークリマ

事務局）高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

会長）高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

17名

議題①各部会等報告

○就労支援部会

・イベント委員会は11/20の雇用フォーラムや1月のしごとサロンたかまつの開催に向けた準備、広報調査委員会では、前期の振り返りと後期に向けた話し合いを実施している。

○精神保健福祉部会

・特記なし

○相談支援部会

・上半期の振り返りと下半期に取り組みたいことの検討を行った。下半期に取り組みたいことに対する意見はなかなか出なかったが、テーマを決めた取り組みが必要と思っている。
⇒移動支援の事業所が不足しているという話題があった。複数の利用者を対象にした移動支援（グループ支援）について検討してはどうか。

○身体障害者支援部会

・別冊で作成しようとしているアンケート（事業所の災害対策の現状を把握しようとするもの）については、まず「日常生活における困りごと調査」の対象（主たる障害を「身体障がい」と届け出している）事業所に実施し、協議会に報告する。

○知的障害者支援部会

略

○発達障害部会

・「高校生活ガイドブック」について、本人と教師で取り組むワークシート方式で検討している。

○こども部会

・一つの事例をもとに、8Gに分かれてのGSVを行った。選定した事例（どこの事業所にもありそうな事例）と、事例提供者とも事前の打合せが出来ていたのが良かった。

○医療的ケア部会

・県の支援者養成研修は2日間（終了）、コーディネーター養成研修は4日間の日程のうち2日が演習になっている。県の医ケア部会と連動して高松圏域の体制を作っていくたい。

○当事者団体・家族会連絡会

・略

○居宅サービス事業所連絡会

・11/28PM、サービス提供責任者研修を実施予定。10月末に案内を出し、現時点で申込みは12事業所程度。

○地域生活支援拠点検討部会

・緊急短期入所を調整して受け入れた場合について、実際の受入日の前々日から施設は加算をとることができる。しかし、途中で次の施設に移った場合、次に受け入れる施設は定員内での受け入れをしないと減算になる。

・市内の短期入所施設のうち、24時間対応が可能な事業者は約半数。残りは予約制で事業を実施している。

議題②事務局より

○高松市発達障がい児者サポーター養成講座

10/19（土）実施済。この会に参加した保護者からの相談が後日基幹に寄せられた。

○高松市における障がいの者の防災対策研修会

12/10（火）実施予定。

○各部会予算消化進捗状況

できるだけ2月中に執行できるよう協力する。来年度の予算も各部会で検討する。

○強度行動障がい者支援に関するスーパーバイザー（講師）派遣のご案内

今年度1件の実績。希望があれば事務局まで。発達、高次脳、精神のスーパーバイザー派遣についても必要により活用する。

○就学前の学校選択に関する支援（経過報告）

知的障がいの子を持つ母の集まりで情報を収集した。“今となれば納得できるが、就学指導委員会から養護学校相当だと意見された時はショックだった”“信頼関係があるところで相談したい”“仲間やOT等専門職などのつながりの中で考えた”等の話あり。

次回 12月13日（金）10：00-12：00 かがわりハ AV会議室にて *9：15-9：45 打合会